

二月風廻り（ニングァチ・カジマーイ）

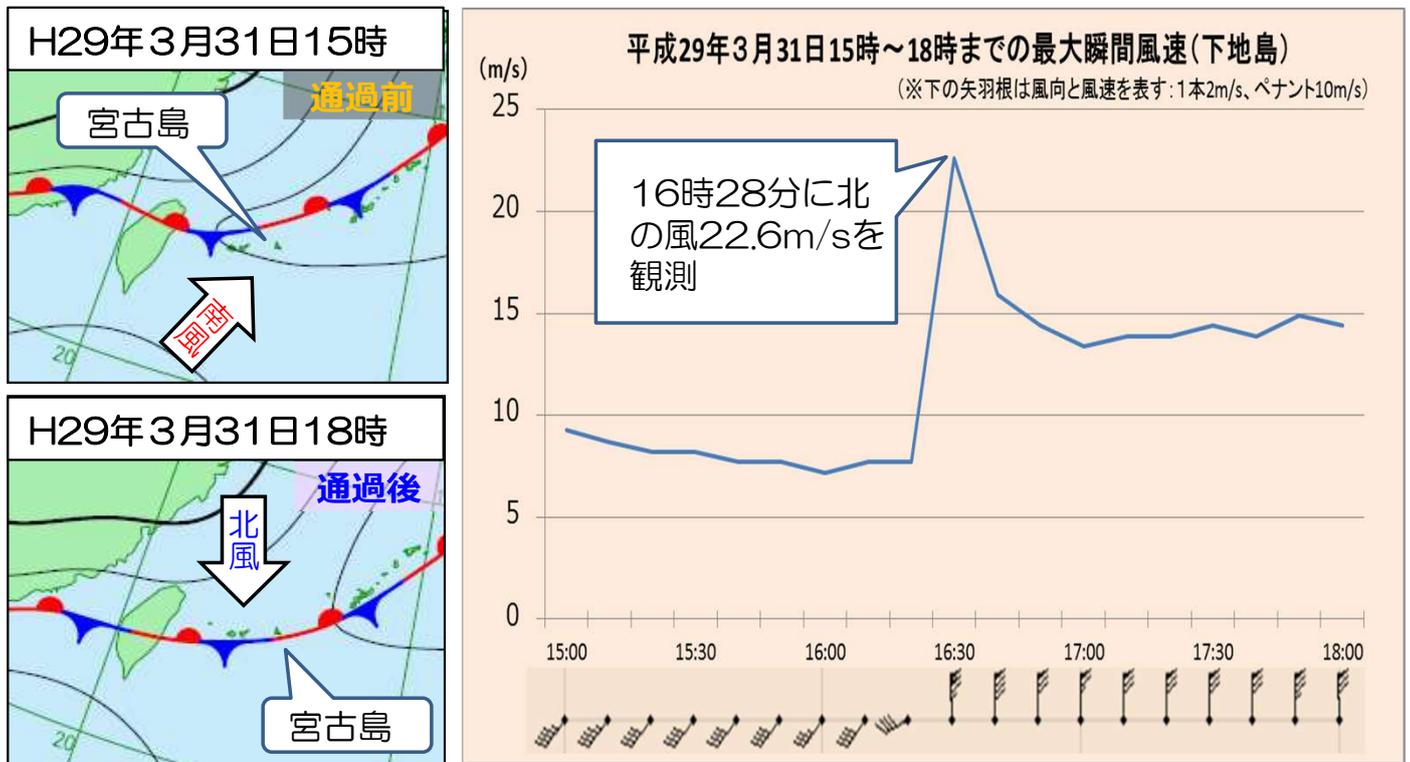
～風の急変・強風や高波に注意が必要～

これから春先（旧暦の2月）にかけて、「冬型の気圧配置」は長く続かず、東シナ海では、低気圧の発達や前線通過に伴い、穏やかだった天気が急に強い北風になり、海上では波が高まってしけとすることがあります。この天気の急変をニングァチ・カジマーイと言います。過去にもこれによる海難事故が発生しています。

（天気の急変事例）

下図は、前線が宮古島地方を通過する前後の天気図と、同時時間帯の下地島における風の変化を示したものです。

- ・前線通過前：南西の風8m/s
- ・前線通過後：急に北風となり、22.6m/sの非常に強い風を観測。



海に出る前に、気象台HPで必ず気象情報を確認

気象台では、前線や低気圧の接近によって波や風の急な変化が予想される場合、「高波と強風に関する気象情報」や、波や風に関する「警報」、「注意報」などを発表して、気象庁ホームページやテレビ・ラジオなどを通して注意喚起を行っています。海辺でのレジャーを計画する際は、天気や風が急に変化することはないか、波が急に高くないか、事前に気象情報を確認し、身の安全を守りましょう。

宮古島地方気象台

検索

宮古島地方気象台ホームページ
<http://www.jma-net.go.jp/miyako/>

お問い合わせ先：宮古島地方気象台 TEL:0980-72-3054(平日のみ/8:30～17:15)